



# 人の和通信（ 建治 104号 ）



富士山が『世界遺産』に登録されてからますます富士山の人気は高まり、登山者もかなり増えているようです。

その富士山について最近「某新聞のコラム」で次のような文章を目にして驚きました。

富士山には「白い川」があると教わった。かつて山小屋のトイレにたまった内容物は山肌に垂れ流された。それに混じったトイレトーパーが白く筋状にこびりつく現象をいう。見苦しいし、汚い。霊峰としてはまことに不面目である。……

白く雪を頂いた美しい富士山の姿の実情がまさかこんな事になっていたなんて、とても信じがたい事です。想像すらしたくありません。

最近では富士山のトイレ事情も改善されてきているという。……汚物はおがくずやカキ殻で処理する。……1回200円のチップを払う。……ただ強制ではない……

これは「すごい！」と思いました。バイオの力で優しく自然に戻してくれるとは、なんと世界遺産に相応しい処理方法なのでしょう。



しかしここですぐ私の頭を過ったのが「生ゴミ処理のコンポスト」でした。庭やベランダに設置して、生ゴミと発酵促進用の乾燥微生物を交互に入れていく……しかしこれは思った以上に分解が遅く、処理能力にも限界があり、加えてコストも結構掛り……

当然それよりはずっと進化した処理方法に違いないはずでしょうが、すべてのトイレをこの処理方式に替えるにはかなりの費用が掛るでしょうし、その後のランニングコストまで考えると、有料にせざるを得なかったのでしょうか。任意の入山料の1,000円で賄えきれるとは到底考えられませんので、この『チップ制』を導入したのもよくわかります。



海外には「トイレが有料であることが当たり前」の国が結構あります。また、『チップ』という行為自体浸透している国も多いですから、海外からの登山者のほうが日本人よりむしろこの『チップ制』に違和感を持たないかもしれません。

しかし何処へ行っても原則「トイレは無料」である事に慣れている我々日本人にとって、「トイレに毎回お金を支払う」のはなんとなく納得しがたい事です。また、富士山に両替の出来る所があるとは考えにくいので、小銭を事前に用意しなければなりません。登り始めてから下山するまでに何回位トイレに行くのかを計算し、必要なだけの小銭を用意してそのうち何枚かはすぐ取り出せるよう、いつもポケットに入れておかなければなりません。

より大きな問題は、登る人が多すぎて、既存のトイレの処理能力を超えていることだ。毎年30万人前後が頂上をめざす。……6万人分の不足だという▼携帯トイレを普及させるという手はある。入山者を制限することはもはや避けられないという声もある。……

まだまだ富士登山人気は衰えないでしょう、少なくとも東京オリンピックが終わるまでは。トイレ問題で登山者が減少することも考えにくいですし……。

先日、富士山清掃で有名な登山家の野口健さんがこんな事を言っていました。

「富士山の世界遺産登録は少し早すぎた。私としては、今回審査に落ちて世界遺産にならないことを願っていた。」

誰よりも富士山を愛している人だと思っていたのに、一体どういう訳なのでしょう。……その理由というのが……

「登録に落ちてくれれば、なぜ落ちたかが話題になり、その事が問題視される。落選の理由がゴミの問題であれば、ゴミを捨てない。捨てさせない。見つけたら拾い持ち帰る。誰もが富士山をきれいにしようという意識を持ち、本当にゴミも不法投棄も無いきれいな富士山を世界遺産としたかった。」というのです。

そして野口さんもやはり「登山者が多すぎる」という事を指摘されていました。

観光地でもあり、霊峰でもある富士山の登山者を制限するというのは極めて難しいことでしょう。ただ今のままでは世界遺産登録を維持し続けることのほうがもっと難しくなるかもれません。となればやはり登山者の制限は必須となるはずです……近い将来……。



富士山頂の様子

これは富士山に限ったことではなく、誰もが毎日の生活におけるゴミの出し方やトイレの使用に対する考え方を、改めて見直すべきではないでしょうか。何気なく捨てているゴミの処分には多額の税金が費やされ、無料と思っているトイレは無料ではなく、私たちが支払った料金の一部が使われているのですから。



窪目 修一

#### 編集後記

初めてヨーロッパへ行ったとき、公共のトイレにも地方田舎のトイレにも、入口に必ず「トイレおばさん」がいてチップを要求するんです。「えっ、トイレってお金いるわけ？」って最初は思ってたんですけど、お金を渡すと、きれいに折りたたんだトイレトペーパーをくれたり、手を洗うとさっときれいな手拭き用のタオルを差し出してくれたり……。それにそのトイレはそのおばさん持ち場。だからトイレはとてもきれいに清掃してあって、気持ちよく使える。すごく納得したことを覚えています。でもいつも小銭を持っていなければならぬのでトイレが近いと大変でした。だってチップだから原則「お釣りは無し」。小銭がないとすごく高いトイレになっちゃうの。だから、有料でもいいからせめてお釣りをください！

渡邊由美子

179-0076

東京都練馬区土支田 4-12-22  
鷹・土工・建設業

株式会社 窪治組

TEL 03-3925-1773

FAX 03-3925-1796

Mail maruharu@kuboharu.jp

http://kuboharu.jp